

# きらめく夢をこの手に抱いて

スマイルハートプラン〜障害者(児)支援団体の紹介〜

vol.7

「地域とつせむ」、仲間とつせむに」

「知的障害や発達障害などがあっても、自分の家で、自分の生まれた地域で暮らし、みんなと学校に行きたい。」との本人や家族の願いを叶えたいと思う親が集まってできたのが、私たち「かわせみの会」です。旧中島町の親の会として発足しましたが、現在では能登島地区、田鶴浜地区の方々も加わり、地域のボランティアに支えられながら、今年で7年目を迎えました。

現在は、毎月第3日曜日の午前10時から中島支所で活動しています。主な内容は、知的障害児施設サポート・アメニティあらいぶの相談支援



布を使つての音楽療法

員の方々や音楽療法を行いながら、子どもとの関わり方について指導していただき、子育てに関する悩みなどをみんなで話し合っています。

また、できるだけ子どもたちにも色々な体験や活動をしてほしいと、各種イベントに参加したり、キャンプやバス遠足、社会見学、調理実習などの行事を取り入れ、子どもたちと共にふれあっています。

参加者からは「自分だけで悩んでいたことが、この会の存在を知って、同じ悩みを持つ親子が集まり、話をするだけで活動の場が広がった。」との声が多く寄せられます。

身近な地域で相談できる場、交流できる場、悩みを分かち合える場として、これからも支え合いながら地道に活動していきたいと思ひます。一緒に話してみたい、参加してみたいなど関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

かわせみの会代表

藤田 恵美子 ☎66-0468

「スマイルハートプラン」とは、笑顔で支え合う、ともに生きる心を重視した「七尾市障害者計画」の通称名です。

## ひと・人・ヒト

昨年の「新七尾市一周年」に続き、今年は秋篠の宮家の第三子誕生を祝う「寿 七尾」の文字を、古代米を栽培する田に稲文字で制作された。

山田さん方では代々、気多本宮神社に奉納するもち米の稲を栽培しています。この11月に奉納する稲をできるだけ瑞々しい稲にしたといういろいろ探して古代米にたどり着いたそうです。さらに調べていくうちにいろんな色の古代米があることを知り、せっかく栽培するのだからと遊び心を取り入れ、ついには稲文字の制作にまでなっていきました。

どんな文字にするのかを考えるのが一番大変とおっしゃる山田さん、来年はどんな文字が田から浮き出てくるのでしょうか。



山田重隆さん

やまだ しげたか

古代米の栽培田で稲文字を地元有志の方々と一緒に作り、農業を楽しむ。

